

ホソバセセリ

Isoteinon lamprospilus

兵庫県：C

環境省：—

種の概要

前翅長16～20mm程度。翅の表面は黒褐色、前翅の中央部に白斑があり、前後翅とも基部付近は黄土色。平地から低山地の森林に接した草地に生息するが、規模の大きな明るい草原にはみられず、やや日当たりの悪い場所にみられる。ススキなどを食べる。年1化性で、成虫は6月下旬～8月に出現する。



写真提供：近藤伸一

国内分布

本州、四国、九州、隠岐、対馬

県内分布記録

ほぼ全域

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○				

特記事項

新規追加種

県内に広く分布していたが、発生場所は局所的であり、近年常緑樹の成長で林縁部が暗くなっていること、シカの食害で草原環境が変化していることなど生息環境が悪化し、生息の確認できる場所が少なくなった。

保護上の留意点